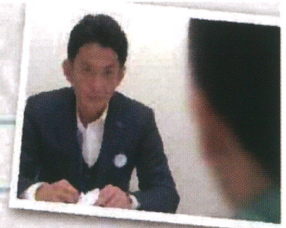




2013年、関西の中小企業7社が集まり、あるプロジェクトが発足した。元受刑者に住まいや仕事を提供し、再犯を防ぐ「職親プロジェクト」。参加者の中に、ひとり複雑な思いを抱えた男がいた。大阪の建設会社社長の草刈健太郎さん…草刈さんには大切な妹を殺された悲しい過去があった。



# 殺害された俺が なんで…「妹」を

## 元受刑者を相手に、冷静な気持ちでいられるのか？

当初、気が進まなかった草刈さん。ある青年との出会いをきっかけにのめり込むように更生支援の活動に。全国各地の刑務所・少年院を訪問し、多くの元受刑者らに手を差し伸べてきた。しかし、支えたそばから裏切られることは日常茶飯事…。窃盗・薬物・詐欺など再び、犯罪に手を染める者たち…草刈さんは親のように見守り続ける、「心を鬼に、仏にしてー」

## 「妹」を殺した、犯人との対峙ー

活動を始めて7年。妹を殺害した夫・チェイスがロサンゼルス市の刑務所から仮釈放されるという知らせが舞い込んでくる。チェイスからは一度も謝罪も手紙もない。その彼と面会することを決意した草刈さん。

加害者を支援し続ける葛藤の間で、再び、犯罪者への憎悪に支配されてしまうのか…？

## 反省はひとりでもできるが、更生は一人ではできないー

再犯を減らし、新たな被害者を生まない…

10年間に及ぶ草刈さんの活動を通じて、元受刑者の生き直しを支える必要性とともに、問題を浮き彫りにし、社会の在り方を問うヒューマン・ドキュメンタリー。



## トーク&シンポジウム

犯罪加害者の人たちも「精神障害」と言われる人たちも隠したり孤立することが多いのだと思います。

私たちマインドの「精神障害」当事者たちが暮らす真備町は、西日本豪雨災害を経験し「小さな声」の人たちが安心して「助けて」が言えるまちが災害にも強いということをも身をもって経験しました。「隠さず」暮らせるまちづくりをテーマに上映後、映画関係者、参加されたみなさんと、真備で被災した「精神障害」当事者との対談も行いたいと思います。



北岸監督、花本ディレクターも登壇予定です。

\*\*\*\*トークセッション登壇者(予定)紹介\*\*\*\*\*



精神障害  
当事者



未定  
草刈 健太郎 氏  
日本財団職親プロジェクト関西代表  
カンサイ建築工業㈱ 代表取締役社長



北岸 良枝 氏  
「おまえの親になったるで」  
映画監督



花本 憲一 氏  
テレビ大阪  
ディレクター

## ■当日タイムスケジュール

- ・ 13:00 開場
- ・ 13:30 映画上映開始 (90分間)
- ・ 15:05 上映終了
- ・ 15:15 トーク&シンポジウム (30分間)
- ・ 15:45 終演

■入場料は無料ですので、当日定員に達しました場合はご容赦下さい

## ■お願い

会場は定員が211名のホールです。事前予約をご希望される方は、**090-4653-1150 (事務局)**か、

[chiisakimonowoutsuna@outlook.jp](mailto:chiisakimonowoutsuna@outlook.jp)まで、お名前とご連絡先、人数をお知らせください。当日席を取っておきますので受付にてお申し出ください。